



福島医大病院ニュースレター

編集・発行/附属病院患者サービス向上委員会

〒960-1295 福島市光が丘1番地 / TEL (024) 547-1111 ホームページ <http://www.fmu.ac.jp/byoin/index.php>

新任挨拶

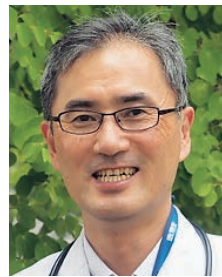


腎臓・高血圧内科

部長 風間 順一郎

腎臓は体液の量や組成を調整する臓器です。器である血管の容積に対する血液の体積の割合が相対的に狂ってしまう病態が血圧異常ですから、高血圧も広義には腎臓の体液調整機能が不全によって起こると考えることができます。腎臓・高血圧内科には、この腎臓に起こる疾患を診断・治療して腎臓を護ることと、損なわれてしまった腎臓の機能を代行して人為的に体液調整を図ることの2つの役割があります。腎臓に起こる疾患は主に腎臓だけを冒す原発性腎疾患と全身の疾患に伴う続発性腎疾患に大別されます。これらは臨床症状と共に組織診断によって鑑別されますが、福島医大は伝統的に病理組織診断力が強く、積極的に腎生検を行って精緻な病態解析を行っています。また、続発性腎疾患の代表は糖尿病性腎症ですが、これも福島医大のお家芸であり、先進的な管理で病態の進行を食い止めています。腎臓の機能を代行する治療の代表は輸液や血圧管理ですが、疾患が進行して腎機能が廃絶してしまった場合は血液浄化療法を行います。福島医大では血液透析の他に腹膜透析にも力を入れていることが特徴で、管理しているクライアントの数は全国一です。体液の溶質を規定する塩である骨の代謝の管理もまた腎臓・高血圧内科の範疇です。このように、臓器を護る仕事と臓器の代行を行う仕事を両方バランスよくこなすことが腎臓・高血圧内

科の最大の特徴です。課された役割を果たし、福島県民の健康保全に貢献したいと思います。



甲状腺・内分泌内科

部長 鈴木 悟

平成28年7月1日より、附属病院甲状腺・内分泌内科診療部長を拝命しました。どうぞよろしくお願いたします。

当診療科は、ふくしま国際医療科学センターの甲状腺・内分泌センターの中にある、診療センターの内科部門として新しく設立されました。当科の対象疾患としましては、下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎といった内分泌の代表的臓器に関連する疾患のみならず、将来的には肥満、やせ、低血糖症、カルシウム代謝異常など全身的な疾患も診られるような広く内分泌に関わる疾患を対象として福島県の医療の発展に貢献していきたいと考えています。

内科の場合、各臓器間のホルモン応答のバランスや加齢に伴う変化を評価し、その患者さんの人生に沿った診療を提供することが重要であります。短期的、長期的な視点に立った疾患の診かたを合わせ持つことが、診療の質に直結すると考えています。

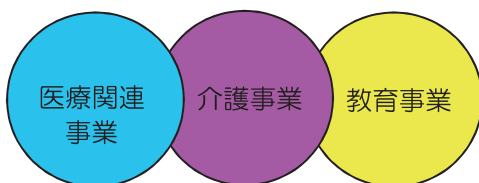
本格稼働としましては、来年1月のみらい棟稼働に合わせ、外来診療を開始していく予定です。診療科発足以来、現在は内分泌疾患、特に甲状腺腫瘍の患者さんの診療を中心に、内科的なディスカッションや外科との連携をカンファレンス形式で進めています。また月1度、多くの科にまたがった内分泌症例の診断治療につき統合的な検討を行っています。もし、内分泌に関わるお困りの症例がございましたらご紹介いただければと思います。内分泌疾患の診断治療に関係するさまざまな科の皆さまと連絡を取り合いながら、統合的な治療を進めていきたいと思っています。

今後ともどうぞよろしくお願いたします。

第35号のなかみ

- 1ページ ○新任挨拶
- 2ページ ○新任挨拶
- 3ページ ○患者さんからの声 ○パンダハウス
○ふくしま国際医療科学センター整備について
- 4ページ ○リレー通信「けやきの会」
○CT検査およびMRI検査の予約のオープン化を始めました

全国展開するニチイの3つの事業



株式会社 ニチイ学館

福島市栄町6-6 UNIXビル3F
Tel 024-524-2835 Fax 024-522-0306

マチのほっとステーション
LAWSON

ローソン福島県立医科大学附属病院店 (エレベーターホール隣)
ローソン福島県立医科大学店 (7号館内)
ローソン福島県立医科大学会津医療センター店

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

部長 室野 重之



平成28年7月1日より福島県立医科大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長を務めさせていただくこととなりました。「耳鼻咽喉科・

頭頸部外科」という名前は聞き慣れないかもしれませんが、中耳炎や副鼻腔炎などがイメージされる、いわゆる「耳鼻科」に加え、口腔・咽頭・喉頭・唾液腺などの癌をはじめとする腫瘍性疾患を扱う「頭頸部外科」にも積極的に対処していることを意味しています。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科では、癌という命にかかわる領域に加え、「呼吸をする」「食べる・飲み込む」といった人間が生きていくうえで必須の領域、「聞く」「話す」「表情に出す」といったコミュニケーションにかかわる領域、さらに「香り」「味わい」といった生活を楽しむ領域に広くかかわっています。

赤ちゃんから後期高齢者の方々まで、文字通り老若男女を問わず、このように多岐にわたる領域に対し、幅広く専門外来を設け、先進的かつ専門性の高い医療を展開し、内科的・外科的両方の側面からアプローチしています。少子高齢化の時代に、耳鼻咽喉科・頭頸部外科医に期待されるものは大きいと自負しています。

癌の治療は標準化の一方で個別化も模索され、高度化しています。副鼻腔炎や中耳炎は難治例が増えています。嚥下障害やアレルギー性鼻炎、睡眠時無呼吸症候群は今や社会問題となっています。当院の基本理念にあるとおり、健康を支える医療・心温まる医療を目指して県民の皆様とともに歩めるよう努めてまいり所存です。今後とも皆さまのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

薬剤部

部長 和泉 啓司郎



平成28年8月1日より、薬剤部長を務めさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。今まで国立病院・

療養所、ナショナルセンター及び厚生省（現在の厚生労働省）や国立病院機構本部並びにPMDA（医薬品医療機器総合機構）に勤務しておりました。病院としては7施設目の病院になりますが医学部附属病院は初めての勤務となります。

薬剤師の業務も医療環境の変化に伴ってこの10年程で大きく変わり、特に病院薬剤師においては従来の調剤や注射薬の払出等の薬剤部内の業務ばかりでなく薬剤部外いわゆる病棟や外来及び治験管理室や臨床研究センターでの業務も重要になってまいりました。抗がん剤のレジメン管理とミキシングは診療報酬上でも評価されておりますが、平成24年度診療報酬改定の病棟薬剤業務実施加算や平成26年度診療報酬改定の外来がん患者さんへの指導は今後の病院薬剤師としては必須の業務と

なっており、6年制薬剤師の輩出を見据えてマンパワーを充足しつつ早急に実施したいと考えております。

また、特定機能病院では臨床研究と共に高度専門的な医療を行っていることから、昨今の医療事故に関連して医療安全に対する取り組みが重要視されてまいりました。医療事故の4～5割を占める医薬品に対して薬剤部として今まで以上に関与し、医師、看護師を始めとした医療職の皆様とチーム医療を推進することによって、患者さんにとって安心・安全かつ高度専門的な医療提供の一翼を担えるよう努力して参りたいと考えております。

どうぞ今後共皆様の御指導、御協力を賜ります様よろしくよろしくお願い申し上げます。

病衣・タオル・紙おむつ・日用品

手ぶらで入院・手ぶらで退院

アイレンタル



お申込・お問合せ先：レンタル受付窓口

024-548-8777

*院内1階、入退院受付横

月～土曜日 9:00～17:00（日祝祭日休業）



株式会社アイシステムオフィス

患者さんからの声「ローソンに買い物バッグが導入されました」

当院では、患者さまやそのご家族等を対象に、患者サービス向上を目的としたアンケートにご協力をいただいております。

このアンケートの中で、「ローソンで買い物をする際、松葉杖を使用していると通常の買い物カゴが利用しづらいため、カゴの代わりになるやわらかい袋を作ってほしい。」とのご意見をいただきました。

このご意見を受けて、この度ローソン内で利用できる買い物バッグを新たに導入いたしました。

利用をご希望の際は、店員にお声がけいただければお渡しいたしますので、是非ご利用ください。

今後も、皆様からの貴重なご意見を、患者サービスの更な

る向上に繋げてまいりますので、引き続き、お気づきの点などございましたら、ご意見をお寄せください。



「パンダハウス」チャリティーバザーが開催されました

8月2日～3日の2日間、病院玄関ホールにおいて「認定NPO法人パンダハウスを育てる会」によるチャリティーバザーが開催されました。会員による可愛らしい手作りのバッグや小物、アクセサリなどが展示され、多くの方にご来場いただきました。

「パンダハウス」は福島県立医科大学附属病院で、治療を受けながら病と闘っている子どもと家族が安心して滞在できるもうひとつのわが家、それが「パンダハウス」です。

建築後19年経過し、ご利用の皆さまにとって快適で心安らぐ空間で有り続けるため、施設設備を見直し、増築工事が始まりました。より一層子どもと保護者が心から安らげる空間を目指しています。

今後ともパンダハウスへのご理解をいただきますようお願いいたします。

なお、次回のチャリティーバザーは平成28年12月頃を予定していますので、是非お立ち寄りください。



認定NPO法人
パンダハウスを育てる会事務局
TEL【548-3711】
パンダハウスHP
【<http://pandahouse.org>】
FB更新中です

ふくしま国際医療科学センター整備について

救命救急センター

～みらい棟1Fエントランスホール (災害時トリアージスペース)～

現在建築中のふくしまいのちとみらいのメディカルセンター棟(みらい棟)1階のエントランスホールは約280㎡の広大なスペースを確保しており、みらい棟および附属病院全体の玄関として、開放的な空間となる予定です。平時には、一般外来患者様やご家族の方の待機場所として活用されますが、災害発生時には、トリアージスペースとしての機能を持ちます。

東日本大震災で発生した福島第一原子力発電所事故により、福島県内の病院では県外(主に新潟県、栃木県、群馬県等)への病院避難を余儀なくされた事例が多数ありました。この数多くの病院避難に対し、本院は医療中継拠点として機能しました。病院避難患者様を全例一時収容し、長距離搬送に耐えうるか否か選別(トリアージ)後に、自衛隊や緊急消防援助隊によって県外搬送されました。

みらい棟のエントランスホールは、こうした大規模災害時の一時収容場所として、また多数傷病者発生時のトリアージを行う場所として、多くの電源や医療用ガス配管などを整備し、近

くには災害対応の備蓄倉庫を設置しています。

福島県立医科大学附属病院は、今後も基幹災害拠点病院として福島県の災害医療をリードしてまいります。



■東日本大震災時の病院正面玄関
本院職員、全国DMAT、自衛隊の協働



■みらい棟1Fのエントランスホール(イメージ)
ベンチはベッドに変形しトリアージに対応可



リレー通信

病院ボランティア「けやきの会」

ボランティアをはじめませんか

安齋 幸子

病院ボランティアを始めて18年目です。自分の生活に合わせて、患者さんに寄り添える活動を「出来るとき」「できる範囲で」「明るく」「笑顔を忘れることなく」1か月の中で2回から3回位を目標として活動しています。そして、仲間の方々と一緒に楽しい情報交換の場を持つようにしています。それは10時のお茶の時間です。

私は8月生まれで満80歳になりましたが、いつも1人で生活していますと、だんだんと外出することが億劫になってしまいます。今まで出来ていたことが出来なくなって自分に自信が

なくなり、家の中にいる時間も多く、おしゃれすることも忘れてしまいます。健康への不安が大きくなって運動不足になり、他人とのつながりも途絶えてしまいがちです。

だから、いきいきとした生活を続けていくために、いろんな場所で多くの方々とのふれあいを楽しみとして、ボランティア活動や世の中の動き、地域の行事などに参加しています。年齢や身体機能の衰えなどを受け入れながらも、楽しく前向きに明るく。そして、周りに笑顔や喜びを散らしながら、自分の健康も考え迷惑を掛けることのないように、いつまでも活動していきたいらいいな、といつも考えています。

どうぞ皆様、これからも元気と若さを分けて下さい。よろしくお願ひします。

CT 検査および MRI 検査の予約のオープン化を始めました

放射線科 部長 伊藤 浩

放射線部では各種のX線撮影、CT、MRI、核医学、PETなど、さまざまな画像検査を行っています。今回は、CT検査とMRI検査の検査予約についての最近の話題です。

従来は、患者の皆様が外来でCTやMRIの検査を受ける際は、主治医の先生が放射線部に電話で連絡して検査の申込みをしていました。これは、頭部、胸部、腹部、四肢など検査の所要時間が異なる多様な検査を効率的に行うため、検査毎に検査の時間枠を検査内容に合わせて手作業で設定する必要があったためです。このため、検査日時が確定するまでに時間がかかってしまい、患者の皆様にお手間を取らせることになっていました。この度、検査の時間枠を自動的に設定し、検査の申込みから検査日時の確定までをすべて電子カルテ上で完了させることができるコンピュータシステムが完成し、外来での検査予約時にその場で検査日時をお伝えすることができるようになりました。これは検査予約のオープン化と呼ばれる仕組みですが、この仕組みにより外来での主治医の負担も軽減しますので、よりよい医療サービスの提供にもつながるものと期待されます。

なお、CT、MRIの検査のうち、一部の特殊検査につきまし

ては、従来通り電話での申込みとなります。これは、限られたCT、MRI検査の時間枠をより有効に使うためです。何卒ご理解の程お願い申し上げます。CTやMRI検査のことでわからないことやお困りのことがございましたら、いつでも検査窓口までお問い合わせ下さい。



◀CT装置

MRI装置▶



すべてを地域のために

東邦銀行

ご利用・お問い合わせは 福島医大病院支店

窓口営業時間：平日午前9時から午後3時

電話 024-548-5331 (受付時間:平日午前9時から午後5時)

スターバックスコーヒー福島県立医科大学附属病院店

営業時間 平日 7時～20時
土日祝 9時～19時

アメリカ シアトル生まれのスペシャルティコーヒーストア。高品質のアラビカ種コーヒー豆から抽出したエスプレッソがベースのバラエティ豊かなエスプレッソドリンクやパストリー、サンドイッチをお楽しみいただけます。

